



えのしろ

よっかいちしりつみえきたしょうがっこう
四日市市立三重北小学校

れいわ ねん がつ にちはこう
令和4年2月3日発行



がっこうきょういくもくひょう
学校教育目標

こころゆた ひとりでいちだい まな あ こ いくせい
心豊かにたくましく、ともに学び合う子どもの育成

みえスタディチェック

学校においては、コロナ禍で ICT(インターネット コミュニケーション テクノロジー)化が一挙に加速し、子どもたちには一人一台タブレットが配付されました。また、日常生活の中でもインターネットの環境が整備されてきています。

みえスタディチェックは、学習内容の定着度を把握し、個に応じた指導や授業改善を促進するために実施しています。1日に5年生が2回目を行い、今回初めてタブレットを使った実施(CBT【コンピュータ ベイストテスト】)となり、選択問題はタブレット上で解答し、記述式の問題は紙に解答するという形式でした。このことにより、子どもが解答を確認して「送信」すると、自動採点・自動集計され、子ども一人ひとりや学校・学級の強みや弱み、どの問題でどのくらいの子どもがつまづいているかなど即時に把握することができます。なお、記述問題については、教師が採点を行います。



今後、全国学力学習状況調査・児童質問紙も CBT 化が進んでいきます。近い将来には、デジタル教科書ができ、授業中や家庭学習では、クラウド上で閲覧する日がやってくるのでしょうか。

このデジタル化の波は、加速度的に社会全体で進んでいくことが考えられます。Society5.0 (1.0⇒狩猟社会、2.0⇒農耕社会、3.0⇒工業社会、4.0⇒情報社会、5.0⇒サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済の発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会：内閣府HP より)といわれる社会が到来することに向けた人材育成を、国として位置づけています。AI(人工知能)技術の発達により産業や働き方、社会全体の姿が変わりつつある中、私たち人としての強み「現実の世界を理解し、意味づけできる感性」「倫理観」「想定外と向き合い調整する力」「責任をもって遂行する力」などを、義務教育段階では「確かな学力を修得し、未来を創る力の養成」「生涯にわたり健康を保持し、運動に親しむ態度の育成」「豊かな人間性を育み、夢と志の実現に向け学び続ける態度の涵養」(「四日市市教育大綱～夢と志を持ち、未来を創るよっかいちの子ども～」より)の取り組みを進めます。

なお、このようなタブレット等のデジタル端末を活用することによる、心と体の健康への影響や人と人との関係性への影響については、子どもの生活リズム向上・人権教育・道徳教育等、教育活動全体を通して取り組みを進めていきます。

お知らせ

- ・2月21日(月)の日課について、「平常日課」とお知らせしましたが、「特別日課」としますので、1～3年生は14時過ぎに、4～6年生は15時ごろに下校予定です。訂正してお詫び申し上げます。